

九州経済調査月報 12月号特別企画

～ビズコリトーク・トークセッション～



BIZCOLI

TALK

2018年12月11日(火)

18:30～20:30

電気ビル共創館3階 BIZCOLI

(福岡市中央区渡辺通 2-1-82)



企業と福祉との共通価値のみつけれ方

～障がい者の就労支援事業をケースに

九州経済調査月報 2018年12月の特集レポートでは、「就労の場」をキーワードに、企業・福祉・社会のあいだに生じる共通価値を創出する事例を紹介しています。「働くこと」は、福祉側では社会参加や経済的自立につながる価値があり、企業側では超高齢化・人口減少のなかでの人材確保戦略につながります。そのような理想的なビジョンを実現するには、丁寧なかかわり方が必要とされています。

今回は、障がい者の就労支援と企業との接点をつくる実践者のお二人をお呼びして、実践取組の考え方や方法論、そして共通価値の考察を深めるトークセッションを行います。ぜひ皆さまご参加ください。

登壇者:

船越 哲朗 氏 (西部ガス絆結(株) 代表取締役社長)

22年間勤務した西部ガスを退職し2014年に合同会社絆結を設立し、就労支援事業所「ワークオフィス絆結」を開設。その後、障がい者雇用に力を入れたいとの相談を西部ガスより受け、2017年西部ガスの特例子会社になり西部ガス絆結(株)に社名変更。「障がいがあっても納税者となり、高齢者を支える」というビジョンを掲げ、企業の現場ニーズを熟知した事業展開と、障がい者の得意を生かす支援により、業界内でも圧倒的に高い就職定着率と、福祉的な補助に偏らない事業運営を行う。

山内 泰 氏 ((株)ふくしごと コミュニケーションディレクター)

「障がい者と社会との心地よい循環をつくる」ことを目的に福祉事業所のコンサルティングや、福祉事業所の製作する商品やコンテンツの企画・デザイン・販路開拓の支援を行う。コンサルティング事業では、福祉の理念とビジネスのノウハウを上手く接合する工賃アップのための支援を、佐賀県や福岡市を中心に100カ所近くの就労支援事業所等に実施。また、「日々のてまひま」「日々の芸術(HIBIGEI)」といった福祉作業所の商品流通の支援も手掛ける。

進行・コーディネーター:

南 伸太郎 氏 (ラボラトリオ(株) 代表取締役/ 統括マネージャー)

医療介護福祉・地域づくりに関する政策コンサルティングを手がける。

参加費 賛助会員・BIZCOLI 会員：無料、 一般：1,000円

定員 24名 (先着順)

下記の項目を記入のうえ FAX (092-721-4908) または、ホームページ (<http://www.bizcoli.jp>) からお申込みください。

会社名・団体名	所属/役職
住所	電話
ふりがな お名前	E-mail

お問い合わせ：九州経済調査協会 (担当：松嶋・牟田・犀川)

TEL:092-721-4909 FAX: 092-721-4908

BIZCOLI
BIZ COMMUNICATION LIBRARY